学校番号	４０７

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「標準現代文Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等	意味から学ぶ頻出漢字 3000（第一学習社）　国語必携ライトパーフェクト（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

さまざまなジャンルの文章から、内容を読み取る力をつけていきます。
文章を読むことを通して、より多くの語彙、表現の知識を身に付けていき、コミュニケーション力の向上を目指します。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し，適切に表現する能力を高めるとともに，ものの見方，感じ方，考え方を深め，進んで読書することによって，国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等の発言や態度の評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期中間	随想	わたしはあなただったかもしれない ・チンパンジーの例に注意しながら，「人間」に対する筆者の主張について理解する。	○	◎		◎		a： 本文に対するイメージを発表したり，筆者について調べたりするなど，積極的に教材に接している。 b： 本文の内容を踏まえたり，具体的な例を挙げたりしながら，「人間」について感じていることを自分の言葉で表現している。 d： 文章全体の構成や展開を理解し，筆者の主張を捉えている。	＜行動の観察／記述の点検＞ ＜行動の観察＞ ＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞
1学期末	小説	デューク ・この小説の場面展開を的確に読み取ると同時に，登場人物の関係を理解する。 ・小説における比喩的な表現の工夫を理解する。		◎		◎		b： 小説の感想をまとめて的確に発信していると同時に，他者の感想にも共感している。 d： 少年とデュークの関係を読み取り，二人に対する主人公の心理を理解している。	＜行動の観 ＜行動の観察／定期考査＞
2学期中間	評論	新しい地球観 ・評論を読んで，文章の構成，展開，要旨を的確に捉える。 ・論の展開に注意して筆者の考えを読み取り，生命の特徴や不思議さについて考える。		○		○	◎	b： 生命の不思議さについて，具体例を挙げながら話し合っている。 d：文章の構成を考えて，筆者の考えの論拠となる部分を読み取り，筆者の主張を理解する。 e： 評論における難解な語句の意味や用法を的確に理解している。	＜行動の観察＞ ＜行動の観察／定期考査＞

2学期末	詩歌	永訣の朝 ・詩の背景にある作者の心情を的確に理解する。 ・この詩を読んだ感想をまとめて，的確に発表することを理解する。			◎	◎	◎	c：作者の思いに対する自分の考えを発信している。 d：情景やその展開を正確に理解している。 e:宮沢賢治の詩における修辞技巧や言葉の使い方を的確に理解している。	＜行動の観察＞ ＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ ＜行動の観察／定期考査＞
3学期	小説	鼻 ・寓話的な小説の世界を味わい，その主題と構想を理解する。		◎		◎		b：本文の表現を根拠として，的確な具体例を交え，作品の感想を述べている。 d：本文の内容に即して，表現の内容を的確に理解し，主人公の心情やその変化を的確に捉えている。	＜行動の観察＞ ＜記述の確認／定期考査＞

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む力　e：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。